



## 巻頭言

## 消化器センター 准教授 / 出口 <sup>でぐち</sup> <sup>よしお</sup> 義雄

この春より昭和大学江東豊洲病院消化器センター消化器外科診療科長を拝命致しました。2014年3月の開院時より、昭和大学横浜市北部病院消化器センターから当院に赴任し、早くも10年目になりました。

当センターは、開院以来、井上晴洋センター長のもと、上部消化管、下部消化管、肝胆膵領域の消化器全領域を網羅し、良性疾患から悪性疾患に至るまで、内科外科が one team となって、診療を行っています。

消化器センターのミッションは、大学病院として、江東区を中心とした医療圏の患者さんに、最善の医療を行うことでもあります。最新の機器で、精密な診断を行い、複数の合併症を持った患者さんに対しても、もっとも最適な治療を提案し、内科から外科にシームレスに連携し診療しています。



わたしたち外科医が行う手術治療は、疾患を治すために行うものですが、からだへの侵襲や術後の痛みを伴います。そのため、根治性を損なわなければ、できるだけ低侵襲の術式を選択したいものです。この低侵襲治療に関しては、当センターでは、内視鏡、腹腔鏡手術を駆使して、患者さんのからだに可能な限り負担の少ない治療を行っています。また、胆嚢、胃、大腸はもちろん、以前、開腹手術でしか行わなかった肝臓や膵臓疾患に対しても、最近では腹腔鏡で手術を行うようになりました。これらの術式の進歩に伴い、術後の鎮痛剤の使用が少なくてすむようになり、早期離床、早期退院が可能になっています。

昨年の統計では、センターで施行したすべての領域を含む全手術の74%を腹腔鏡で行いました。昨今、我が国の外科医減少が続いています。厚生労働省の調査によると、ここ20年間に2,000名減少し、さらに40歳未満の若手外科医が半減しておりますが、この春、あらたに3人の専攻医を迎え、当センターでは外科医が徐々に増えています。当センターの医療、研究、教育活動が正しく評価されている結果と考えています。

地域の皆様に、安心して治療を受けていただけるように、今後も、レベルを進化させるべく努力を続けてまいります。よろしくお願いいたします。



### 第111号のトピックス

- 巻頭言（消化器センター）
- 総合サポートセンター紹介
- 第16回公開講座開催報告・動画配信のお知らせ
- セミナー開催
- ご意見・ご要望
- 病院内マスク着用をお願い
- 編集後記

## 総合サポートセンター紹介

総合サポートセンター 看護師長／<sup>おいぬま</sup> 箕沼 <sup>さとこ</sup> 智子

総合サポートセンターは、患者さん・ご家族への支援・相談窓口、地域との連携を行う部門です。当院で急性期の高度な医療を安心して受け、安心して住み慣れた地域で療養生活を送れるよう、病院内職員間・病院外の地域の医療機関等と緊密な連携を行っています。江東豊洲病院が10年目を迎えた今年は、医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、事務員の総勢47名で対応をしています。



総合サポートセンタースタッフ  
後列左から5番目 大槻総合サポートセンター長  
前列左から5番目 箕沼看護師長

通院中の患者さんへは、検査が安心して受けられるよう検査前の準備説明を行います。また、入院生活における必要物品や注意事項を説明させていただきながら、心配事・悩み・不安をお受けし、入院される病棟看護師への情報提供を行っています。入院中は、退院後の生活を見据え、治療後の療養先や自宅での社会生活に関する相談・調整を行っています。



窓口対応の様子

些細だと感じることも、お気軽にご相談ください！  
木曜日～日曜日または午前中は比較的すいています！

さらに、外来・入院問わず、様々な悩み・相談・苦情にも対応いたします。例えば、受診・治療・薬剤・医療費・福祉・栄養・セカンドオピニオン・カルテ開示・家庭内暴力など多岐にわたります。相談内容に応じて、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士、がん関連の認定看護師、事務員などの専門職が対応いたします。「こんなこと相談して・・・」「聞いてみてもいいのかな・・・？」と感じられ、躊躇することがあるかもしれませんが、一緒に考えます。とはいえ、総合サポートセンターは対応までの待ち時間に関するご意見も多くいただき、大変ご迷惑をおかけしています。待ち時間・対応時間短縮を目指した業務改善を行っておりますが、木曜日～日曜日または午前中は比較的すいています。どうぞ、お気軽に立ち寄りください。

急性期医療機関として、24時間365日スムーズに患者さんを受け入れられるよう、住み慣れた地域で療養生活へ送り出せるよう、地域の医療機関や訪問看護ステーションのほか、最近急増している介護施設・在宅ホスピスなどとの顔が見える協力体制を充実させています。

総合サポートセンターは、来院される患者さん・ご家族にとって、院内のコンシェルジュのような役割が果たせるよう、共に力を尽くしていきたいと思っております。



# Pick up

## 第16回公開講座開催報告・動画配信のお知らせ

6月3日（土）、第16回公開講座を開催しました。「なかなか聞けない トイレのお悩みスッキリ解決！」というテーマで、第1部では、「健康は腸から始まる！ー便秘について知ろうー」の演題で消化器内科・田邊万葉医師が腸と便秘の関係性について講演しました。第2部では、「頻尿、尿漏れで困っていませんか？～原因と治療～」の演題で泌尿器科・平松綾医師が頻尿、尿漏れの対処方法を中心に講演しました。

3年半ぶりの参集形式での開催ということもあり、受講された方から、「久しぶりの対面での実施を楽しみにしていた」「オンライン以上に集中して参加することができた」などといったお声をいただきました。一方で、今回は早い段階で申込数が定員に達したため、参加できなかった方が多くいらっしゃいました。

当日の講演内容を後日ホームページで公開する予定ですので、ぜひご覧ください。

次回の開催は今年の秋頃を予定しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



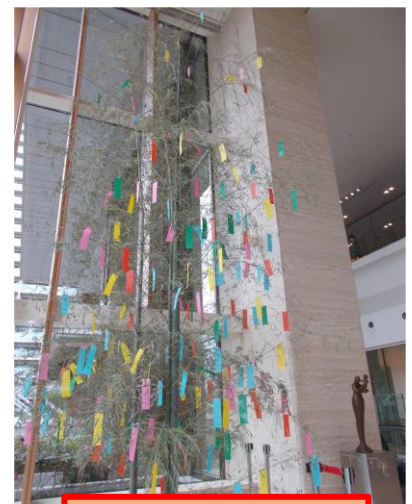
（左から）消化器内科 田邊医師、  
大槻公開講座委員長、泌尿器科 平松医師

# Pick up


## 七夕イベント開催

七夕という企画を通じて、院内生活を送られている方をはじめ、当院を利用される方に季節感を感じていただきたく、6月30日（金）から7月7日（金）まで今年も1階ロビーに笹飾りを設置します。

ご来院の際は、ぜひ願い事をお寄せいただき、たくさんの短冊で笹を飾ってください。



昨年の笹飾りの様子

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>いつもお世話になり、ありがとうございます。 退院後の検査にて、呼び出しの際、「ああ、〇〇さんかあ」と待合室に響く声で迷惑そうに言われました。 過去3回そのような態度をとられていましたので、今回は不快である旨ご本人に伝えさせていただきました。</p> 	<p>この度は不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 検査に関しては受付番号でお呼びし、検査室へ誘導する運用ですが、今回実施されておりました。今後は運用を徹底するよう指導いたしました。 また、患者さんに高い信頼が得られるよう、きめ細やかな配慮で検査を行うようにスタッフへの再教育を行い、安全で安心な検査を心がけて参ります。 貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：放射線技術部</p>

## Pick up

### 病院内マスク着用のお願い

マスクの着用につきまして、政府の方針として令和5年3月13日から個人の判断に委ねることになっておりますが、高齢な方や免疫不全状態の方等、新型コロナウイルス感染症に感染した際に重症化するリスクを持つ患者さんが多くいらっしゃいますので、引き続き院内滞在中はマスクの着用をお願いいたします。

令和5年7月1現在



編

集

後

記

7月に入り、梅雨明けも近づき夏本番も迫ってきました。蒸し暑い日も続きますが、皆さん体調は崩されていませんか？梅雨の晴れ間や梅雨明けは、熱中症に注意が必要な時期です。適度な水分と塩分の補給を行い、こまめな休憩を取るなど、気をつけてお過ごし下さい。私たち麻酔科のスタッフは手術室で過ごすことがほとんどですが、やはり手術は体力勝負！辛い手術室は温度と湿度がしっかりとコントロールされており、働きやすさは抜群です。皆様に安心して手術を受けていただけるよう、スタッフ一同奮闘しております。

さて夏といえば夏祭りです。子供の頃、夏休みに地元の大きなお祭りによく連れて行ってもらったのを思い出します。新型コロナウイルス感染症の影響でお休みだったお祭りも、今年は4年ぶりに開催、などと賑わいを見せるのではないのでしょうか、楽しみですね。



麻酔科 たなか のりこ  
田中 典子



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院  
Facebook ページ